

# 第42回 京都府小学生バレーボール選手権大会参加について

京都府小学生バレーボール連盟

## 「開館・入場」

1. **体育館への入場は9:00です。**(役員は事前に入館していますが、指示があるまで入館できません)
2. 各チーム大人1名以上で、会場・コート設営を行ってください。(原則、自チームが使用するコート)
3. 選手及びボールケース等の荷物がフロア出入口付近や通路をふさがないように各チームでの指導を徹底してください。選手は本部からの指示があるまでフロアには入れません。
4. 体育館の競技場は、すべて2足制になっています。

## 「受付」

5. 「チーム受付」は会場準備終了後、「開始式」は受付終了後に館内放送でお知らせします。
6. 受付時に、<選手名(キャプテンの番号に○)を記入したエントリー用紙(HPよりダウンロード)の余白部分を切り取ったもの>を提出して下さい。**エントリー用紙に記載する選手は、参加申込書に記載した選手と変更できません。**
7. 保護者からの参加承諾を得て参加申込をすることとしています。そのため、参加承諾書の提出は求めません。

## 「試合」

8. 監督・コーチ・マネージャー・キャプテン章はルール通りにつけてください。また、ベンチスタッフの服装は、監督に基準をおいて全員がそろっていること、並びに、その場にふさわしいものとします。(短パン・Tシャツは不可。ただし、ベンチスタッフとして入る小学生はTシャツ、短パンでも可だがユニフォームは不可)
9. 得点板にチーム名を掲示できるものを用意し、試合時に各チームで掲示して下さい。B4横長半分程度(縦13cm、横37cm)ぐらいの大きさに、ベンチや審判台から見える大きさの字でチーム名を表記し、マグネットを裏面に貼り付けておくか、別途用意して下さい。

(例) 京都VBC
-----------
10. 前の試合終了後、次の試合の2チームの合同練習を5分間設定します。審判や補助役員にあたるチームは試合終了後速やかに準備をしてください。
11. 応援幕は、試合チームの掲示を優先します(コート表示等を覆わないように注意)。
12. 大会使用球は、男子・混合はミカサ、女子はモルテンとします。
13. 応援は、拍手と声援のみです。大きいメガホンの使用や楽器類、物を叩いての応援は禁止します。
14. 小学生競技規則の通り1セット1回のテクニカルタイムアウト制を適用します。デュースが続く場合は、第1、第2セットでは、両チームが31点に達したときに適用し、その後は10点ずつ積み重ねた段階で適用します。また、3セット目は両チームが21点に達したときに適用し、その後は両チームが7点ずつ積み重ねた段階で適用します。

## 「審判・補助役員」

15. 第1試合の審判・補助役員は、そのコートの第3試合のチームでお願いします。第2試合以降は敗者チームが次の試合の担当となります。(決勝大会は変則的です。勝ち上がったチームに渡す進行表で確認してください。)

16. 審判用のホイッスルは、タイコ・筒の2種類を主審・副審分ご準備ください。電子ホイッスルの使用は不可とします。ラインズマンフラッグや筆記用具は大会本部で各コートに配置しますが、それらの使用はチームの判断に委ねます。
17. 審判の服装は、ふさわしい服装とします。(短パン・Tシャツは不可)
18. スコアラーは大人が行うことを原則とします。
19. ラインジャッジ等補助役員にあたる選手は、水筒を自コート側の壁際等、競技の妨げにならない場所に置いて、セット間等に水分補給を行って下さい。
20. 最終試合の両チームは、試合コートの片付け・モップかけをお願いします。

#### 「会場使用」

21. 会場のコンセントは使用許可を受けていません。使用しないで下さい。
22. 貴重品の保管には、十分に気をつけてください。盗難に遭うケースがあります。
23. チームで出されたゴミは、必ずお持ち帰り下さい。
24. **各チーム1台のみ、体育館前の駐車(駐車整理券配布)を認めます。それ以外の自家用車は、高架下の駐車場を利用してください。なお、大会主催者としては、公共交通機関での来場を推奨しております。北部のチームで、マイクロバスを利用される場合は、事前にご連絡ください。**

#### 「その他」

25. マスクの着用や消毒等の感染防止対策は各個人やチームの判断に委ねます。選手の出場については、監督は選手の保護者に体調管理が十分なされていることを確認の上、当日の体調にも注意して出場させてください。特に感染性の疾患については、他者への感染防止のためにも罹患者の大会参加は控えてください。
26. 撮影は観客席・通路のみでお願いします。競技中のフラッシュ撮影は、プレーの妨げになりますので禁止します。また、撮影した写真や動画は、個人情報保護並びに選手の安全確保の観点から、SNS等への掲載についても十分ご配慮してください。